

令和8年1月14日

【富山県美術館】まるごと TAD こども美術館 +（プラス） 原倫太郎+原游《アートリバ ー双六》開催について

富山県美術館では、2026年1月15日（木曜日）～3月17日（火曜日）の間、1階TADギャラリーにて「まるごと TAD こども美術館+（プラス） 原倫太郎+原游《アートリバー双六》」を開催しますので、ご案内いたします。



「まるごと TAD こども美術館」4回目の開催となる今年のテーマは「アートリバー あそびでめぐる 20世紀のアートとデザイン」。招待アーティストの原倫太郎さんと原游さんは、卓球台や双六場といった「プレイグラウンド（あそび場）」を取り入れた作品づくりをされているアーティストです。

今回は、20世紀のアートの歴史を“川のながれ”に見立て、体験型作品《アートリバー双六》を制作しました。例えば、トップ・アート風の卓球台、デ・スタイル調のエアホッケーなど、風変わりな遊びを体験しながら、アートが生まれた背景や人々の思いに触れることができます。また、本展ではお二人を講師に迎えたワークショップで子どもたちが制作した作品もあわせて紹介します。

概要

会期

2026年1月15日（木曜日）～3月17日（火曜日）

（※）休館日：毎週水曜日（ただし2月11日は開館）、2月12日（木曜日）、2月24日（火曜日）

場所

富山県美術館 1階 TAD ギャラリー

観覧料

無料

原倫太郎＋原游（アーティストユニット）



「プレイグラウンド（遊び場）」をテーマにした体験型作品を制作している。近年は芸術祭においてキュレーションも担当。2008年絵本『匂いをかがれるかぐや姫～日本昔話Remix～』が文化庁メディア芸術祭エンターテインメント部門において奨励賞を受賞。

アーティストからのメッセージ《アートリバー双六》について

みなさん、お正月は双六で遊びましたか？冬の代表的な遊びである双六はインドでつくられ、中国を経由し奈良時代に日本に渡ってきました。

この度私たちは、巨大双六場をつくりました。そこには、エアホッケー、卓球、ダンスなど、身体を使った遊びがたくさん組み込まれています。そして一番重要なのは、この双六を体験することで20世紀のアートとデザインの歴史や流れを学べるということです。

アートは何でもありの不思議な世界。上手い絵やリアルな彫刻はほんの一面で、キャンバスを切り裂いたり、ただ物を並べるだけだったり、巨大な建築物を布で覆ったり、また生活により身近なデザインは、限られた色で構成したり、機械化の時代にあえて手作業にこだわったりと、ここ100年で様々な表現が誕生しました。

私たちはアートとデザインの歴史を、「川の流れのようだ！」と感じました。そしてそれを双六場にしたらいいのではないか！と。この作品で20世紀のアートとデザインの歴史を体験してください。皆さんのが遊ぶことで作品が完成します。一番にゴールすることが目的ではありません、とにかく自由に楽しむこと！準備はいいですか？出発進行！！



富山県美術館
アート & デザイン